

【ハンギングバスケット】

容器の胴の部分に植物を植えつけて、ベランダやテラス、軒下等に吊り下げられるタイプで、屋外や植物園に使われます。和風のものでは吊り忍などもそうです。



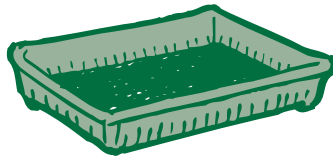
5 水耕栽培容器

主に秋植え球根の水栽培容器として使われていたものですが、最近ではハイドロカルチャー容器としていろいろな形のものが見つかるようになりました。ガラスとプラスチック製がほとんどです。種から育てる野菜やハーブ栽培にもよく使われています。



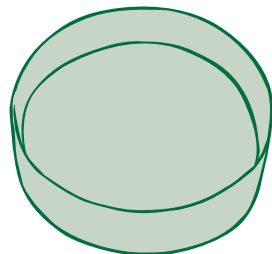
6 育苗箱

種まきや育苗に使う容器で、専門家向きの容器です。深さは5、7、10cmのものがあります。



7 鉢皿

鉢から流れ出る水を受ける皿で、鉢の下には必ず鉢皿を置くようにしましょう。サイズは1号～8号までで、鉢より1サイズ小さい物が合っています。



陶磁器製の鉢の特徴

焼上がり温度	特 徴
素焼鉢	700～900℃ 多孔質で空気を通し、水を吸収して蓄えたり排水したりします。育苗や栽培に最適ですが、難点は割れやすいことです。
駄温鉢	約1,000℃ 縁に釉を塗っている鉢で、育苗や栽培に適しています。素焼き鉢より強度がありますが、その分透水性は2/3程度です。
釉鉢	1,100℃～ 長石や土灰、鉄、コバルト等の酸化物を釉にして焼き上げた鉢です。
焼締鉢	1,100～1,200℃ 粘土に鉄分を多く混ぜて焼き上げた鉢です。
楽焼鉢	1,000～1,200℃ 焼き上げた後急速に冷やした鉢です
磁器鉢	1,300℃～ 高温で焼き上げた鉢で強度があります。

サービスのご案内



●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

鉢の種類と選び方

自分でやってみよう!

セキチュー
How to D.I.Y

84



いろいろな種類がある園芸用の鉢ですが、それぞれに使い方がありますので、植物に合った鉢、そして飾る場所によって違う鉢の選び方を中心に紹介します。これを参考にさせていただくと、もっとガーデニングが楽しめると思います。

植木鉢の種類と選び方、使い方

1 仕立て用

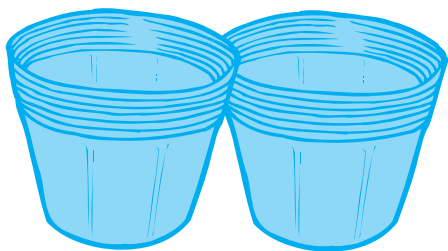
【素焼き鉢・駄温鉢】

主に戸外での育苗と栽培に使われる鉢です。鉢そのものに小さな、目に見えない穴があいているので、水や空気をよく通して、根の成長を助けます。そのまま室内で使うのに抵抗があるときは、鉢カバーを使うといいでしょう。



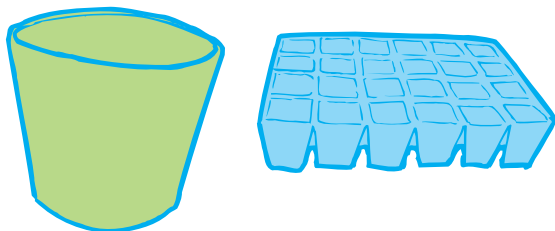
【ポリエチレン鉢(ビニールポット)】

種から苗までの間の育苗に使われる小さな鉢で、柔らかく、移植が簡単で、苗も傷めません。



【ジフィーポット】

ピートモスを圧縮して鉢の形にしたもので、苗を傷めずにそのまま他の鉢や花壇に移植できます。



2 化粧鉢

【陶器鉢】

釉(うわぐすり)のかかったつやのある鉢で、観葉植物は初めから化粧鉢で栽培できますが、草花や洋ランはまず仕立て鉢で仕立てて、鑑賞できるようになってから陶器鉢に移植するのが原則です。

- 陶器鉢の主な産地
常滑焼——愛知県常滑市
瀬戸焼——愛知県瀬戸市
三河焼——愛知県三河地方
萬古焼——三重県四日市市
信楽焼——滋賀県甲賀郡信楽町



【プラスチック鉢】

成形が簡単なのでメーカーによっていろいろな形のものがあり、植物をインテリアとして飾る場合に適しています。しかし鉢自体水を吸収しないので、水やりの回数は素焼き鉢や陶器鉢よりも少なめにした方がいいでしょう。大まかな形のの違いで、下記のように呼ばれています。



標準鉢

長鉢

懸崖鉢

輪鉢

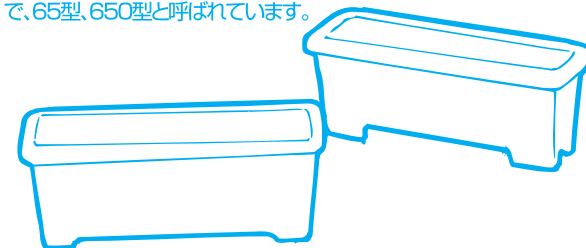
(長鉢よりさらに背の高い鉢)

- 鉢の大きさ
一般に号数と呼ばれていて、1号が直径約3cmで11か12号(直径約33cm)ぐらいまであります。

- 鉢の選び方
植える植物の大きさよりもふたまわりぐらい大きなものを選びます。そして鉢底を見て、穴から根が出てくるようになったら、1号から2号ほど大きな鉢に植え替えてやりましょう。

3 プランター

鉢以外の植物の植えこみ容器を総称してこう呼び、室内やベランダ園芸に適しています。さらにプランター用の壁掛け金具を使って、壁に掛けて使われる場合も増えてきています。材質はプラスチック製のものが多いですが、最近では木や陶磁器、軽量コンクリート、FRP製、また、外国製のものも増えて一段とバリエーションが増えてきています。形や大きさも多種多様ですが、標準的なものは長さが65cmの長方形のもので、65型、650型と呼ばれています。



4 ハンギング鉢

【吊鉢】

つる性の観葉植物を植え、室内や軒下、テラス等の屋外で吊り下げて鑑賞する目的でつくられた鉢です。



【壁掛け鉢】

壁面やトレリス・ラティスを利用する植木鉢で、室内から屋外まで幅広く使われています。特につる性植物に適しています。

